

青梅市立総合病院改革プラン 23年度決算数値

財務全般に関する数値

数値目標項目		21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	23年度実績	目標との差	備考
損益計算書に関するもの	総収支比率	101.8%	100.9%	103.5%	101.7%	102.3%	0.6%	○
	経常収支比率	101.9%	101.0%	103.5%	101.8%	102.4%	0.6%	○
	医業収支比率	94.9%	94.5%	97.2%	95.1%	95.5%	0.4%	○
	職員給与費対医業収益	44.9%	46.6%	42.8%	46.0%	44.7%	-1.3%	○
	材料費対医業収益	34.9%	33.9%	33.7%	34.1%	33.5%	-0.6%	○
	薬品費対医業収益	23.4%	22.2%	23.0%	22.3%	23.4%	1.1%	△
	他会計繰入金対医業収益	4.6%	4.5%	3.5%	4.5%	3.5%	-1.0%	○
貸借対照表に関するもの	資本費対医業収益	8.5%	8.9%	8.4%	8.5%	8.5%	0.0%	○
	不良債務比率	—	—	—	—	—	—	○
	資金不足比率	—	—	—	—	—	—	○
	自己資本構成比率	37.1%	38.3%	39.1%	40.3%	40.9%	0.6%	○
	固定資産対長期資本比率	78.8%	78.9%	77.2%	76.0%	74.1%	-1.9%	△
	流動比率	402.6%	395.2%	368.3%	432.0%	391.6%	-40.4%	△
個別事項	自己資本回転率	1.9回	1.9回	1.9回	1.9回	1.8回	-0.1回	△
	病床利用率	82.3%	83.3%	81.9%	83.3%	80.6%	-2.7%	×
	平均在院日数（一般）	12.9日	12.8日	12.5日	12.8日	12.4日	-0.4日	○
	入院1日平均患者数	459.3人	465.0人	456.8人	465.0人	449.8人	-15.2人	×
	外来1日平均患者数	1,314.7人	1,330.0人	1,334.8人	1,320.0人	1,332.8人	12.8人	○
	入院1人1日平均診療収入	48,557円	50,400円	54,172円	50,800円	53,535円	2,735円	○
	外来1人1日平均診療収入	16,841円	16,500円	17,299円	16,500円	18,082円	1,582円	○
	患者100人当たりの検査件数	586.8件	539.8件	657.0件	539.8件	503.9件	-35.9件	23年度より検査数のカウント方法を改めた
患者100人当たりのX線件数	29.3件	23.4件	30.0件	23.4件	28.7件	5.3件	○	

注 目標との差欄の記号：○目標どおりまたは上回ったもの △目標を下回ったもの ×目標を大幅に下回ったもの

総収支比率(%) = (経常収益 + 特別利益) / (経常費用 + 特別損失) × 100

経常収支比率(%) = (医業収益 + 医業外収益) / (医業費用 + 医業外費用) × 100

医業収支比率(%) = (医業収益) / (医業費用) × 100

職員給与費対医業収益：病院事業は人的サービスが主であるため、病院経営では職員給与費の適正が重要です。(一般的に50%を超えると赤字になる傾向)

材料費対医業収益・薬品費対医業収益：材料費・薬品費は給与費の次に大きな比重を占めます。また患者特性等でも影響を受けます。材料費の低減施策の資料となります。

他会計繰入金対医業収益：一般会計等が負担すべき経費の繰出基準が適正かどうかを検討する資料です。

資本費対医業収益：資本費は、支払利息と減価償却費の合計

不良債務比率(%) = {流動負債 - (流動資産 - 翌年度繰越財源)} / (医業収益) × 100

資金不足比率(%) = { (流動負債 + 特定の地方債の残高 - 流動資産) - 解消可能資金不足額} / (医業収益) × 100

自己資本構成比率(%) = (自己資本金 + 剰余金) / (負債 + 資本合計) × 100。比率が高いほど資金繰りは楽になります。

固定資産対長期資本比率 = (固定資産) / (資本金 + 剰余金 + 固定負債) × 100。固定資産を長期資本で賄えているかを見ます。

流動比率(%) = (流動資産) / (流動負債) × 100。短期借入金の返済能力を見ます。一般的に200%以上が望ましいとされます。

自己資本回転率(回) = (医業収益) / {(期首自己資本 + 期末自己資本) / 2}。資本の活用度を見ます。

病床利用率(%) = (入院延患者数) / (年延病床数) × 100。病院の施設が有効に活用されているかどうかを見ることができません。

平均在院日数 = (入院延患者数) / { (新入院患者数 + 退院患者数) ÷ 2 }

公立病院としての医療機能にかかる数値目標

数値目標項目	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	23年度実績	目標との差	備考
休日夜間平均患者数（小児除く。）	41.8人	35.0人	38.4人	35.0人	37.7人	2.7人	○
木日夜間平均患者数（小児）	30.7人	20.0人	24.1人	20.0人	25.1人	5.1人	○
分べん取扱件数	962件	1,100件	894件	1,100件	931件	-169.0人	△
放射線治療件数	9,212件	9,800件	9,211件	9,850件	6,177件	-3,673件	× 23年度放射線治療機器の更新により使用できない期間がある。
外来化学療法件数	2,401件	2,100件	3,532件	2,150件	3,746件	1,596件	○
冠動脈、大動脈バイパス移植術、 体外循環を要する手術	91件	100件以上	89件	100件	83件	-17件	△

注 目標との差欄の記号：○目標どおりまたは上回ったもの △目標を下回ったもの ×目標を大幅に下回ったもの